

INNOVATION 2030

2021~2030 成長戦略について

2020年6月

- ◆ 日本電計グループでは、今回、10年後（2030年）を見据えた成長戦略を策定いたしました。概要についてご説明させていただきます。
- ◆ なお、新型コロナウイルス感染症の影響で合理的な先行きの見通しを推計できない状況にあることから、今回の発表では、具体的な数値目標の開示は見合わせております。
- ◆ 具体的な数値目標が開示できるようになりましたら新中期経営計画「INNOVATION2030」として改めて発表させていただきます。

テクニカル商社への新たな挑戦

私たちは、環境変化に適応し
豊かな社会の発展に貢献いたします。

日本電計では、前中期計画ND1000（2018/3～2020/3月期）で、今後の成長が著しいと見込まれる4つの市場をターゲットとして営業活動を実施してまいりました。この4つの市場の有益性、成長性は更に増しており、引き続きこの4つの市場をメインターゲットとして取り組みを強化してまいります。

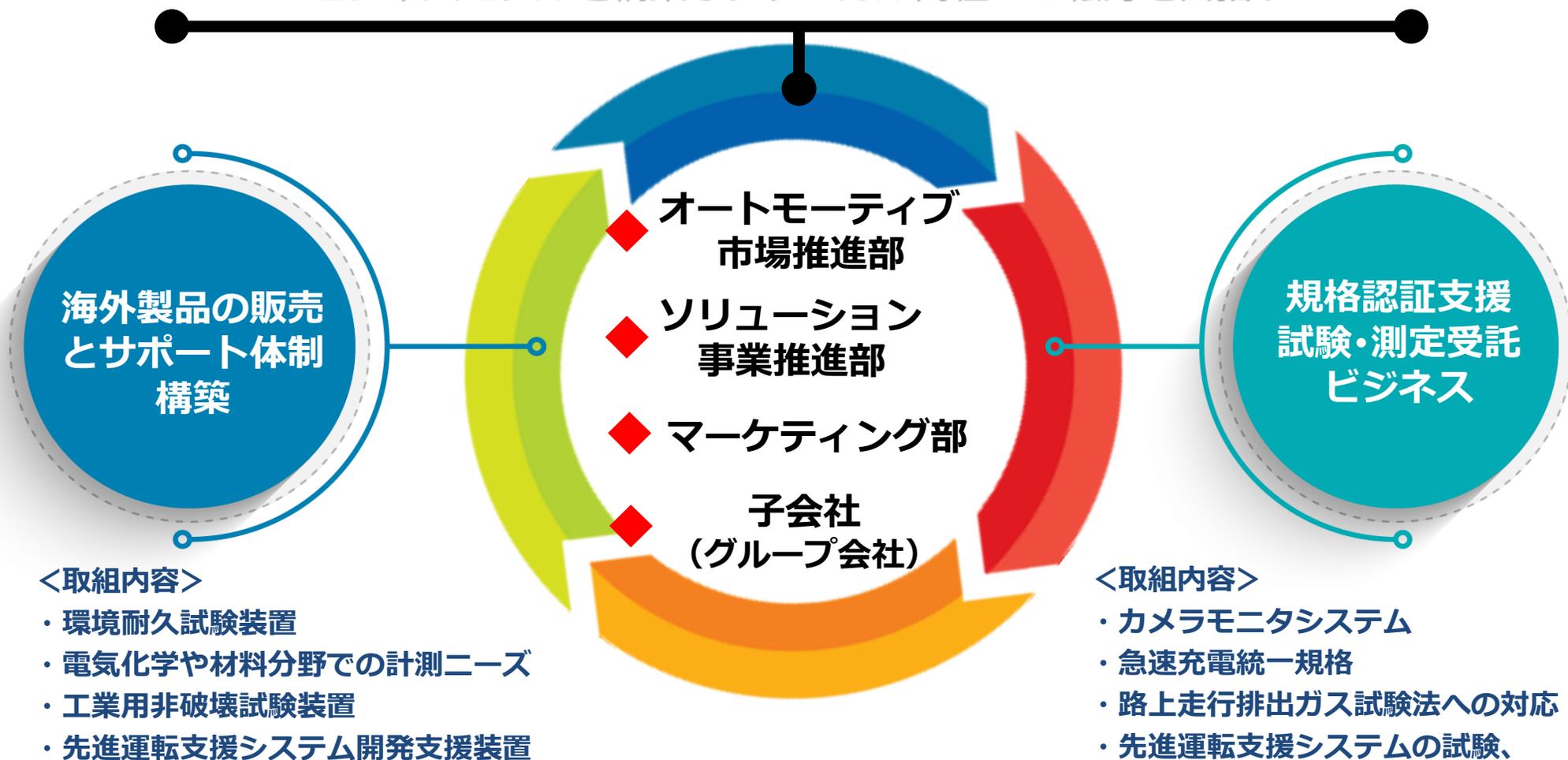




成長戦略

INNOVATION 2030

3つの事業部と子会社（グループ会社）で新たな商材や、
ビジネスモデルを構築しテクニカル商社への転身を目指す



オートモーティブ市場推進部が専門性を高め新たなイノベーションを構築いたします

オートモーティブ市場推進部

ADAS (Advanced Driver-Assistance Systems, 先進運転支援システム) 市場での戦略としてEuro-NCAP2016~対応試験設備を保有しJNCAP (自動車アセスメント) の進化に併せた事業モデルを構築いたします。

- ADASのシステム開発に不可欠な試験装置の販売及び技術サポート、メンテナンス体制を構築

(主な取扱い製品)

- ・車両プラットフォーム
- ・歩行者プラットフォーム
- ・車両ダミー
- ・歩行者ダミー
- ・ドライビングロボット



- 車両間の相対位置を制御する能力テストを行うには試験車両を用いた実走行試験が必要不可欠となり、高度な運転支援システムの開発要求に対応する試験路を用いた受託試験コーディネートを行います。

車両プラットフォーム、歩行者プラットフォーム、車両ダミー、歩行者ダミー、ドライビングロボット等の試験設備を保有し、一般社団法人日本自動車研究所 (JARI) 城里テストセンターに管理倉庫を契約して試験のコーディネート業務を行います。



オートモティブ市場推進部

ソリューション事業推進部

グループ会社（子会社）

設備・機器の販売の他、新たな事業領域として試験サービスを提供しトータル的に問題解決を提案いたします。

- グループ会社との連携により試験サービスのご要求に対応してまいります。
劣化寿命試験サービス（ASCOTT塩水噴霧腐食試験機、Q-LAB耐候試験機）

- 日本特殊陶業製のコンパクトマルチガス計測システムの戦略的取組を推進。
 - ・計測システムの販売
 - ・機器レンタル及び操作オペレーション対応
 - ・メンテナンス業務全般



RDE（Real Driving Emissions）規制により、実走行中に排気ガス内の物質測定ニーズの高まり

- ・排気ガス調査用途等をターゲットに実走行試験を試験路を用いた受託試験コーディネート業務
- 中国市場における電気自動車安全要件やバッテリー、モーターシステムの日本での試験支援事業の立上げ。
中国GB規格に関連する様々な情報提供を行い、ビジネス拡大を目指す
 - ・バッテリー試験
 - ・モーター試験
 - ・自動車充電規格試験
 - ・光学系試験
 - ・EMC試験



日本電計の事業資産と仕入先をトータルにシステム化 お客様にベストソリューションを提供いたします

ソリューション事業推進部

グループ会社（子会社）

M & A

分析機器や電子顕微鏡などの解析装置、X線分析装置、クリーン環境機器の販売体制を強化し、システムでの提供や技術サポート、メンテナンス・アフターサービスまでを一貫した体制で対応いたします。

- 国内外の計測・分析・観測装置を、電子デバイス市場、環境分析市場、材料市場、研究市場へ仕入先と連携して販売体制を強化いたします。

（メンテナンス業務への取組）

- ・ 導入支援から設置調整までをワンストップで対応
 - ・ 引取対応や定期メンテナンス対応
 - ・ 出張一次スクリーニングや部品交換
 - ・ 内製による特注治具の提案（デジタルものづくり）
- 3つの関連製品の取組を強化し2000億円の市場を攻略いたします。

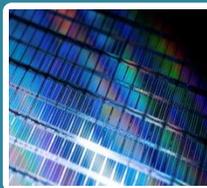
各種分析機器



専門技術営業の配置や営業員の増員、M & Aにより販売体制の強化を行い、グループ会社におけるメンテナンス体制を

構築し、計測分析ニーズに対応。注力製品としては、電子顕微鏡、FT-IR、蛍光X線、分光装置等。

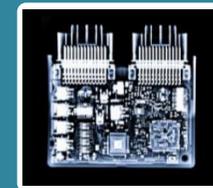
光学顕微鏡



光学素子やICチップの外観検査に必須のCNC画像測定システムやリチウムイオン電池開発に活躍する元素分析が可能な

顕微鏡など、最先端技術を支える光学顕微鏡システムに注力して市場を開拓します。

X線検査装置



電子機器の積層化、異種材料組合せによる高機能化において、サンプルを透過評価できるX線検査装置が重要視されている。

高精細な解析画像が得られるX線検査装置をお客様のニーズに合わせてご提案します。

ソリューション事業推進部

グループ会社（子会社）

M & A

- 自動車分野や電力貯蔵、小型民生機器向けの二次電池開発や量産市場において充放電システムのビジネスを拡大。
- 製造業における画像解析市場でAIを用いた外観検査システムのベストソリューションビジネスを拡大。

- 二次電池の開発や製造市場において、電池の性能や安全性の確認を行う充放電電源を国内外から調達し、試験要求に合わせた試験装置としてグループ会社と連携してシステム提案と保守・メンテナンス体制を構築します。

（取組市場）

- 材料評価市場 電極・集電材料、正負極材料などの電池部材の評価ニーズに対応
- 電池評価市場 セル、パック、モジュールなどの電池性能評価ニーズに対応



- 電子部品等の外観検査の良品自動判定、切削研磨状態の外観検査、織物のほつれ、編みずれ目視検査から自動化へのシフトをマシンビジョン技術で提案します。

（専門スタッフによる取組）

- ディープラーニングソフトの提案
- 事前評価測定による問題解決
- 照明機器の提案
- 治具類、機構設計のトータルサポート



グループ会社（子会社）

オートモーティブ市場推進部

ソリューション事業推進部



荷重測定器を軸とした各種物性試験装置の製造メーカーや、ISO/IEC17025の電子計測機器の校正業務を柱とした校正事業会社、宇宙・航空機、船舶、車両等の地上通信、電波誘導光電の製造と保守を手掛けるエンジニアリング会社を保有し、2020年、新たに太陽光発電パネル検査装置やカメラ検査装置等の各種自動試験装置を手掛けるシステム会社を傘下にしました。各子会社の取り組むべき課題を前進させグループ間でのシナジーを創出し、日本電計全体で競争力を強化してまいります。

■アイコーエンジニアリング 株式会社

荷重測定器の製造メーカーとして、市場要求を的確にとらえた物作り体制を強化。小型で複雑化するニーズにロボティクス技術を用いた動作性能と高い操作性を付加した新規事業開拓を推進いたします。

■ユウアイ電子 株式会社

高周波、度量衡、理化学機器への校正品目拡大をいたします。新たな事業分野として恒温恒湿槽の認定校正業務や、オートモーティブ市場推進部、ソリューション事業推進部と連携を深め新規校正市場開拓を行います。

■株式会社 エイリイ・エンジニアリング

エンジニアリング技術と3D-CADを用いた各種設計製造業務を幅広い分野で展開いたします。また、環境試験装置のメンテナンス経験を生かし、劣化寿命試験サービス分野での新たな事業展開を推進いたします。

■新栄電子計測器 株式会社

40年にわたりシステムハウス事業分野において高い技術力で各種検査装置の開発を手掛けており、今後、情報通信・電子部品・自動車業界を中心に特注関連の装置に力を入れてまいります。

M & Aにより事業領域の拡大と高付加価値を追求します

■ 販売戦略の拡大

- 分析機器営業
- 電子計測営業
- 二次電池市場
- 自動運転市場
- AI関連技術
- FA関連技術
- IoT関連技術
- 設計・開発

**既存事業
領域**

■ 売上増と 事業密度の向上

- 市場優位性の確保
- 経営の効率を追求

■ 事業領域の拡充

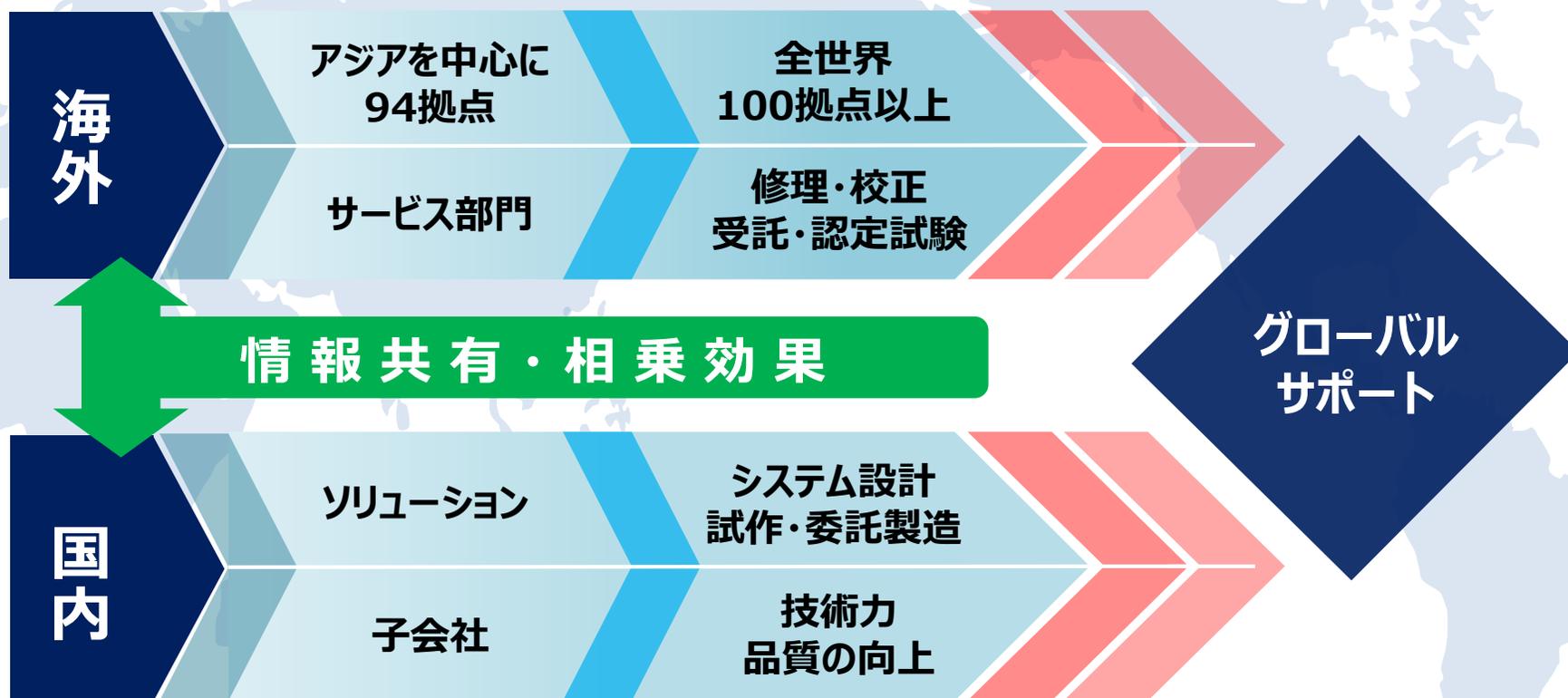
新たな商材や技術力を獲得

- システム開発
- エンジニアリング
- ソフトウェア開発
- 理化学分野

**ソリューション
領域**

お客様のニーズを把握しより良いサービスを提供するため世界の国と地域へ営業拠点を整備し続けます

日本電計は、日本企業のグローバル展開が活発化する中で、海外拠点及びサービス部門の拡大と、国内子会社の技術力アップとソリューション部門の提案体制を強化します。また、国内外の情報共有で、Denkeiグループとして相乗効果を上げ、お客様のグローバル展開をサポートいたします。



— テクニカル&ソリューションをグローバルに展開 —

お客様のニーズを把握しより良いサービスを提供するため世界の国と地域へ営業拠点を整備し続けます

■ 現状の展開国

■ 将来の展開国



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

日本電計株式会社

IR推進

Email : honsha@n-denkei.co.jp